

腫瘍・血液内科

第1週月曜日の集合場所： 病棟7階 カンファレンスルーム

集合時間： 8時00分

クラークシップ・ディレクター： 緒方 正男 (FMC 32156)

アテンディング： 西川 和男 (FMC 32612)

チーフ： 大津 智 (FMC 32531)

河野 利恵 (FMC 32910)

諸鹿 柚衣 (FMC 32909)

高野 久仁子 (FMC 32022)

戸高 明子 (FMC 32627)

本田 周平 (FMC 32034)

奥廣 和樹 (FMC 32025)

稲墻 崇 (FMC 32045)

吉田 匡貴 (FMC 32042)

岩永 愛実 (FMC 32911)

森 靖子 (FMC 32061)

西川 匠 (FMC 32073)

腫瘍・血液内科実習における注意事項

医師としての自覚と学生としての謙虚さをもって患者さんと接すること。
特に、腫瘍・血液内科では予後不良患者や全身状態不良の患者が多いため、言葉使い、話す内容などについて注意する。

腫瘍・血液内科

【一般目標】

消化器がん、肺がん、造血器悪性腫瘍、原発不明がんなどの診断や治療を理解するために、診断までの科学的推論の立て方、診断方法、実際に行われる化学療法および支持療法を医師の指導のもとに学び、自分の考えを適切にプレゼンテーションできる能力を養う。

【行動目標】

- ① 癌の病変部位をエックス線・CT・内視鏡などで指摘し、診断および病期を説明できる。
- ② 鑑別診断および治療方法を説明できる。
- ③ 治療の目的、期待される効果、予測される有害事象を説明できる。
- ④ 白血病・リンパ腫の治療方法を説明できる。
- ⑤ ギムザ染色ができ、末梢血液像、骨髓所見、病理所見の判別ができる。
- ⑥ 骨髓移植におけるレシピエント、ドナーの検査、処置（治療）の方法を説明できる。
- ⑦ 貧血の判別ができ、その治療法が選択できる。
- ⑧ 血液型判定、交差適合試験の意味と方法を説明することができる。
- ⑨ 臨床試験などの化学療法の開発過程を理解できる。
- ⑩ がん患者に対する告知および病状説明の仕方を学び、患者および家族の気持ちに触れる。
- ⑪ がん薬物療法のみならず、疼痛コントロールなどの緩和医療の方法を学び、チーム医療としての緩和治療を感じる。

腫瘍・血液内科学講座 Stage1		CR：カンファレンス室		ML：ミニレクチャー(7東病棟カンファレンス室)	
第1週	月	火	水	木	金
8:00～9:00	8:00 7東病棟CR 担当 吉田 オリエンテーション 腫血ふりわけ	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認	8:00 腫瘍内科ラウンド 7東病棟CR		8:00 腫瘍内科ラウンド 7東病棟CR
			8:45 ML 発熱性好中球減少症(西川)	8:45 ML 分子標的薬(大津)	
9:00～10:00	7東病棟 担当 吉田(血)/西川(腫) 担当患者の割り当て	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション
10:00～11:00	自習	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認	9:30 7東病棟CR 担当 緒方 国試対策講義
11:00～12:00					10:30 7東病棟CR 担当 高野 造血幹細胞移植
昼休み					
13:00～14:00	13:00 7東病棟CR 腫瘍内科カンファレンス	自習	13:00 7東病棟CR 担当 緒方 教授レクチャー “血液疾患の新規治療”	自習	自習
		13:30 7東病棟CR 移植患者多職種カンファレンス			
14:00～15:00	14:00 7東病棟CR 腫瘍血液内科合同カンファレンス (新患紹介) +教授回診 ±血液内科カンファレンス	14:00 7東病棟CR 血液内科カンファレンス	14:00 7東病棟CR 担当 西川 免疫チェックポイント阻害薬	14:00 7東病棟 担当 吉田、岩永 骨髓穿刺練習	14:00 7東病棟 担当 岩永 TLS/悪性リンパ腫
15:00～16:00			15:00 7東病棟CR 担当 諸鹿 MM/CML		
16:00～17:00	自習	自習	自習	自習	自習

↑
*第1週、第2週とも金曜日午前に骨髓採取が入る場合あり
↓

第2週	月	火	水	木	金
8:00～9:00			8:00 腫瘍内科ラウンド 7東病棟CR	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認	8:00 腫瘍内科ラウンド 7東病棟CR
	8:45 大腸がん(大津)	8:45 ML 胃がん(西川)			
9:00～10:00	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション	(血液内科選択者のみ)9:00血内カンファ 7東病棟ナースステーション
10:00～11:00	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認 自習	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認	(外来実習または自習) ※外来実習は各担当医へ確認
11:00～12:00					
昼休み					
13:00～14:00	13:00 7東病棟CR 腫瘍内科カンファレンス	自習 13:30 7東病棟CR 移植患者多職種カンファレンス	自習 13:30 7東病棟CR 担当 河野 止血・血栓	自習	自習 または 補習
14:00～15:00	14:00 7東病棟CR 腫瘍血液内科合同カンファレンス (新患紹介) +教授回診	14:00 7東病棟CR 血液内科カンファレンス	14:30 7東病棟CR 担当 本田 急性白血病		
15:00～16:00	±血液内科カンファレンス		15:30 輸血検査室 担当 古賀 輸血検査・交差適合試験	15:30 7東病棟CR 担当 緒方 総括 担当症例プレゼン 1名5分程度	
16:00～17:00	自習	自習	自習		

自習は原則として7東病棟カンファレンス室で行ってください。手技等の実習機会ができた時間には担当医が指導します。

カンファレンス室は日中は施錠されませんので、貴重品の管理は各自でお願いします。

学生による腫瘍・血液内科実習の評価 2024

講座名：腫瘍・血液内科

実習期間：月 日～月 日

学籍番号：氏名：

<選択肢>

5：強くそう思う（とても良い） 4：そう思う（良い） 3：どちらとも言えない（普通）
2：そうは思わない（余り良くない） 1：全くそう思わない（悪い）

A：実習プログラム、内容、指導医に対する評価

- ① オリエンテーションは実習を行う上で有用であった -----> (5 4 3 2 1)
② 到達目標、週間スケジュール表は役に立った -----> (5 4 3 2 1)
③ 指導医は丁寧に、親身になって指導してくれた -----> (5 4 3 2 1)
④ 指導医は患者・医師関係の規範となる態度を示してくれた --> (5 4 3 2 1)
⑤ 朝の回診、夕方のフィードバックは有用であった -----> (5 4 3 2 1)
⑥ 実習期間（2週間）は丁度よかった -----> (5 4 3 2 1)

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑦ 参加型実習として技能・態度を学ぶ機会が充分あった -----> (5 4 3 2 1)

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑧ 実習スケジュールは到達目標達成のために効果的だった --> (5 4 3 2 1)

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑨ 総合的にみて、実習は満足するものであった -----> (5 4 3 2 1)

B：実習態度に対する自己評価

- ① 信頼される髪型・服装・姿勢・態度をとることができた ----> (5 4 3 2 1)
② 無断欠席・早退せず、決められた時間を厳守できた -----> (5 4 3 2 1)
③ 患者を尊重し、良好な対人関係を築くことができた -----> (5 4 3 2 1)
④ 学習意欲を持ち、自ら調べ、指導医と議論することができた --> (5 4 3 2 1)
⑤ 診療チームの一員として、行動（診療参加）できた -----> (5 4 3 2 1)
⑥ 各場面で適切なプレゼンテーションを行うことができた ----> (5 4 3 2 1)

C：行動目標に対する自己評価

- ① 胃・大腸癌の病変部位をエックス線・C Tで指摘し、治療方法を説明できる。
(5 4 3 2 1)
- ② 肝細胞癌、膵癌、胆嚢癌の病変部位をエックス線・C Tで指摘し、治療方法を説明できる。
(5 4 3 2 1)
- ③ 非小細胞肺癌、小細胞肺癌の病変部位をエックス線・C Tで指摘し、治療方法を説明できる。
(5 4 3 2 1)
- ④ 白血病・リンパ腫の治療方法を説明できる。
(5 4 3 2 1)
- ⑤ ギムザ染色ができ、末梢血液像、骨髓所見、病理所見の判別ができる。
(5 4 3 2 1)
- ⑥ 骨髄移植におけるレシピエント、ドナーの検査、処置（治療）の方法を説明できる。
(5 4 3 2 1)
- ⑦ 貧血の判別ができ、その治療法が選択できる。
(5 4 3 2 1)
- ⑧ 血液型判定、交差適合試験の意味と方法を説明することができる。
(5 4 3 2 1)
- ⑨ 臨床試験などの化学療法の開発過程を調べる。
(5 4 3 2 1)
- ⑩ 患者・家族へのインフォームド・コンセントに参加し、病気をもつ患者、家族の気持ちに触れる。
(5 4 3 2 1)
- ⑪ 疼痛のコントロールの方法を列举でき、チーム医療としての緩和治療を感じる。
(5 4 3 2 1)

D：全体評価（自由記載欄）

以下の3項目について記載してください。（3項目とも記載をお願いします）

1) この実習で良かった点は何ですか。

2) この実習で改善してほしい点がありますか。

3) この実習で印象に残ったことは何ですか。

お疲れ様でした。

指導医による学生の評価

講座名：腫瘍・血液内科

実習期間：月 日～月 日

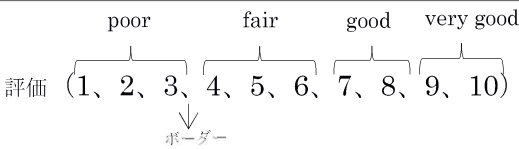
学籍番号：氏名：

【 評価表 】

1. 時間管理

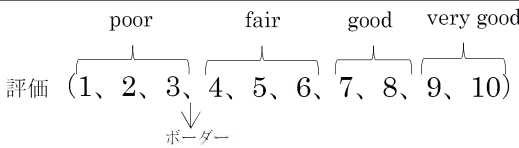
- ・無断欠席はないか（これがあれば1か2）
- ・決められた時間に余裕を持って正確に対応しているか

指導医サイン



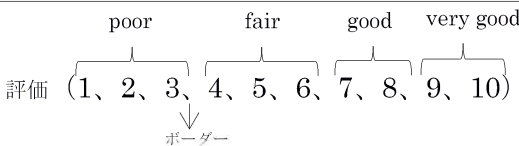
2. 服装・態度、実習に対する姿勢

- ・医師に相応しい髪型・服装で実習しているか
- ・全ての人に対して真摯な態度で接しているか
- ・自分のエラー・落ち度を真摯に認めるか



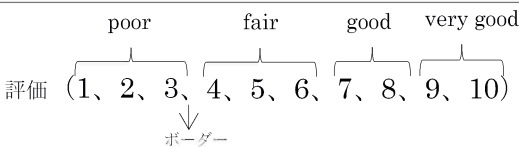
3. 医師・患者関係

- ・患者さんの訴えに傾聴し、態度と言葉で共感しているか
- ・患者さんに敬意を表し、人格を尊重する姿勢を示しているか
- ・患者さんとの適切な対人関係を構築できているか



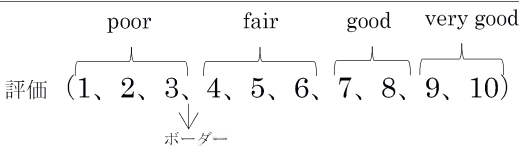
4. 実習に際しての学習態度

- ・学習意欲を持ち、課題に対して自ら学習する姿勢がみられたか
- ・事前に疾患・診療に関する基本事項の復習を行っているか
- ・積極的に指導医に質問し議論することができたか



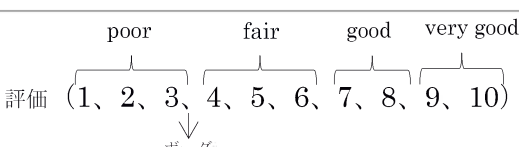
5. 医療チームの一員としての診療態度

- ・医療チームの一員として行動（診療参加）できたか
- ・全ての医療従事者に敬意を示し、適切な関係を保っているか
- ・他人の意見を尊重できているか



6. 問題解決・プレゼンテーションスキル

- ・問題点・対応等を指導医に報告して検討しているか
- ・プレゼンテーションは適切か（日々の報告、カンファレンス等）
- ・臨床課題の解決に、文献・エビデンスを適応できているか



7. 全体評価（全体を通しての評価）

（指導医あるいは指導責任者が総合評価し、点数に○印をつけてください。）

可否	再実習・不可												合格									
点数	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	

再実習・不可の場合の理由

()

指導責任者 印

8. 次の実習先指導医へのメッセージ

（特に、学習者に対し、各科連携して指導して改善していくべき事項がありましたら記載してください）

()